

「安全で安心な店舗・施設づくり推進運動」

に取り組んでください。

室蘭労働基準監督署

第三次産業における労働災害は、全国的に増加傾向にあり、令和2年では、室蘭労働基準監督署管内においても労働災害の61.6%を占めています。特に、社会福祉施設、小売業及び飲食店の発生件数は第三次産業の中でも多くなっています。しかし、労働災害減少のための取組が進んでいないことなどが指摘されています。

災害のない店舗・施設づくりは、施設利用者、消費者の安全にも寄与し、人材確保にも資するものですので、「実施要綱」に基づき、積極的に取り組まれるようお願いします。

事業者の皆様に行っていただく事項

個々の店舗・施設の実施事項	S T E P 1	<p>ア 4 S (整理、整頓、清掃、清潔)の徹底による転倒災害等の防止</p> <p>イ 危険箇所の表示による危険の「見える化」</p> <p>ウ 作業マニュアルへの安全衛生上の留意事項の追記及び店舗・施設の従業員への周知・教育、朝礼時等での安全意識の啓発</p>
	S T E P 2	<p>ア ヒヤリハット活動による危険箇所の共有、除去</p> <p>イ KY(危険予知)活動による危険予知能力、注意力の向上</p> <p>ウ 防滑靴、切創防止手袋等の着用、介護機器・用具等の導入、使用の推進、熱中症予防のための透湿性・通気性の良い服装の活用</p>
	S T E P 3	<p>ア 店長・施設長、安全衛生担当者による定期的な職場点検の実施</p> <p>イ 腰痛健康診断（腰痛予防対策指針に基づくもの）や体力チェックの実施</p> <p>ウ 腰痛・転倒予防体操の励行</p>

本社・本部の実施事項	<p>ア 企業・法人傘下の店舗・施設全体の労働災害の発生状況の把握、分析</p> <p>イ 経営トップの意向を踏まえた安全衛生方針の作成、周知</p> <p>ウ 安全に配慮した作業マニュアルの作成と店舗・施設への周知</p> <p>エ 店舗・施設で実施すべき安全衛生活動を定め、店舗・施設での取組を展開するとともに、必要な資料の提供、教育の実施等の支援を行うこと</p> <p>オ 店舗・施設における安全衛生担当者等の配置状況の確認</p> <p>カ 店舗・施設の安全衛生担当者等に対する教育の実施</p> <p>キ 本社・本部安全衛生担当者、産業医、エリアマネージャー等による店舗・施設に対する危険箇所や安全衛生活動の取組状況の点検、災害防止指導及び健康確保措置の実施</p> <p>ク 安全対策の取組や注意喚起を分かりやすく従業員へ周知するための掲示や小冊子の配布</p> <p>ケ 店舗・施設のリスクアセスメントの実施及びその結果に基づく対策の実施</p> <p>コ 店舗・施設におけるメンタルヘルス対策に係る指導及び実施状況の把握</p> <p>サ 店舗・施設における健康診断、長時間労働者への面接指導及びそれらの事後措置等の労働者の健康確保措置の実施状況の把握</p>
------------	---